

【お知らせ】第一回数値最適化データサイエンス研修会

研修会の趣旨・目的

最近、数値最適化技術への関心が高まり、その技術を適用した新しいビジネスが、企業の規模を問わず、多くの企業から注目を集めている。たとえば、2025年3月5日にオペレーションズリサーチ学会研究発表会に先立って数値最適化人材育成に関するシンポジウムが成蹊大学で開かれ、多くの聴衆を集めた。

データサイエンスに関しては、2019年ころから文科省が、「デジタル社会の読み書きそろばん」である「数値・データサイエンス・AI」を高校生、大学生レベルで教育する制度を2019年ころから導入している。データサイエンス教育を学部・学科として実施している大学は100近くある。

研修会の重要な目的は、数値最適化・データサイエンスの専門家をお招きして、初心者向けの解説、および最新の技術動向の紹介をおこなうことである。

研修会のもう一つの目的は参加者同士の交流を深め、企業からの参加者、大学関係者同士の交流を深めることである。これにより、新たなビジネスの展開を期待したい。

第一回目の講師として、東京海洋大学久保幹雄先生、法政大学野々部宏司先生にお願いしています。

兵庫県立大学情報科学研究科

数値最適化データサイエンスセンター センター長 加藤直樹

講演題目

「数値最適化と機械学習の融合アプローチ ―分類と新しい枠組みと応用―」

講師紹介

久保幹雄 東京海洋大学教授

所属：東京海洋大学大学院海洋工学系流通情報工学

専門と略歴

専門は、サプライ・チェーンならびに組合せ最適化、

早稲田大学理工学研究科修了、博士（工学）。早稲田大学助手、東京商船大学助教授、ポルト大学招聘教授などを歴任。MOAI Lab CTO, A* Quantum Director, Optimind Adviser を兼任。

野々部宏司 法政大学教授

所属：法政大学デザイン工学部システムデザイン学科

専門と略歴

専門は組合せ最適化、とくにメタヒューリスティクスアルゴリズムの開発およびその実用化。

京都大学大学院情報学研究科修了、博士（情報学）。

京都大学助手、法政大学専任講師、同助教授を経て、現在法政大学教授。

株式会社 MOAI Lab 代表取締役を兼任。

注意事項

今回の研修会については、一般参加枠は設けておりません。